

空から地質状態の調査を実施しています

紀伊山地砂防事務所

平成23年台風12号で発生した大規模な崩壊地を含む紀伊山地の地域で、山の斜面の概略的な地質状態を把握するため、空中電磁法による物理探査を行っています。

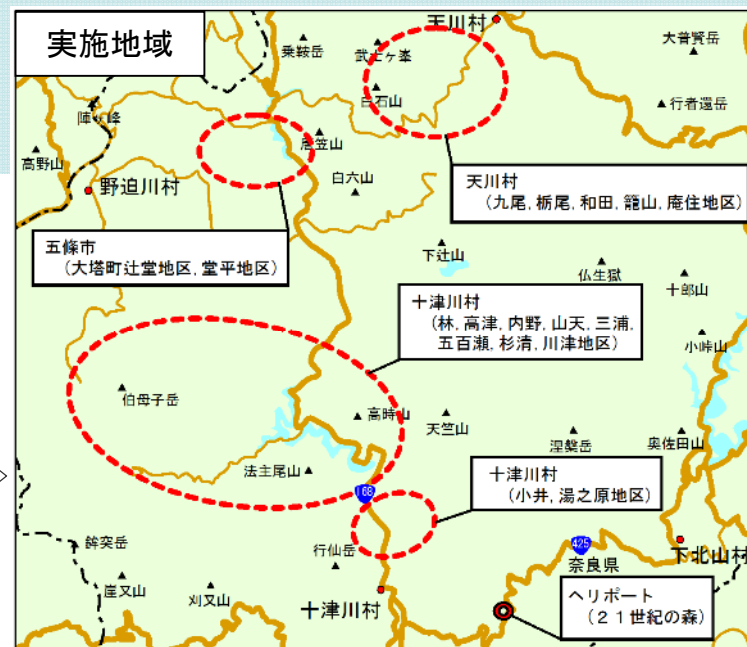
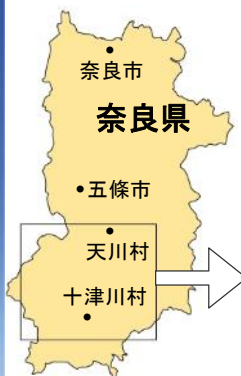
期間：平成25年10月21日(月)～11月29日(金)の朝9時～夕方5時

(日曜祝日、雨天等は実施しません)

地域：五條市、十津川村、天川村の左図各地区
付近の上空

? どうやって調査するの?

A ヘリコプターから高度約30m付近に測定器を吊り下げて、弱い電磁波を出して跳ね返ってくる電磁波の違いにより地中の土の硬さや地下水の様子の違いを判別します。



? なぜ調査するの?

A 空中電磁法による物理探査により、短期間で広いエリアの概略的な地質の状態を把握することができます。崩壊しやすい山の斜面を見つげるための一つの手法として、調査を実施します。

? 体に害は無いの?

A 使用する電磁波は弱く(テレビの100分の1)、人や家畜などの生物、ペースメーカーやテレビ等の電気機器に一切影響ありません。



【問合せ先】

国土交通省紀伊山地砂防事務所 工務課
TEL 0747-25-3111 (担当：岩田)